

5 雑木林のビオトープ

(1) 古い雑木林と新しい雑木林の組み合わせ

雑木林は新しい群落と古い群落で構成種が違ってしますので、さまざまな年代や管理状態を変えた雑木林を組み合わせるのは、生物多様性の視点からは効果的です。

(2) 古い雑木林の縁を少し切る

古い雑木林の縁は陽性の植物が生き残っています。



中央部に「緑の目」ができている

(3) 林のなかに「緑の目」(ギャップ)をつくる

雑木林中に10X10～30X30mくらいの大きな空間を作ると多様性が増大します。ドイツでは主に景観状からこうしたギャップを「緑の目」と呼んでいます。



空地を訪れる鳥の観察を兼ねた虫のビオトープ作り

(4) 整理した枝でビオトープを作る

小動物のために、一部の枝条を用いて、昆虫などのためのビオトープ作りをします。



枯れた木に住む甲虫